

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはありません。

研究課題名	CT検査における低管電圧およびデュアルエネルギー撮像の画質改善に関する研究
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	医療技術部 診療放射線技術部門 長田 弘二
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年3月31日
対象者	2020年1月1日~2020年8月31日までに、金沢医科大学病院でデュアルエネルギーCTもしくは低管電圧撮影法を用いて腹部造影CT検査を行った患者さん
当該研究の意義・目的	<p>意義</p> <p>近年、デュアルエネルギー撮像(DECT)が可能なCT装置が臨床に普及し、物質を弁別することが可能となっています。このDECTは臨床的に有用な報告が多くされています。DECT応用の一つに、仮想単色X線CT画像があり、単色エネルギーで撮像されたCT画像のコントラストを演算によって得ることができます。この画像解析方法により、エネルギーの低い画像の造影剤によるコントラストを増強することができるようになります。この特性を活かし、撮像方法の最適化および造影剤使用量の低減が試みられています。しかし、原理上、低エネルギー画像の画質特性は、低周波ノイズが出現することで低下してしまい、同じように造影効果を増強することが可能な低管電圧CT画像と比較しても、画質劣化が顕著となることがわかっています。</p> <p>目的</p> <p>本研究では、金沢大学で開発された画像ベースのノイズ低減フィルタリングを使用し、ノイズを低減した(画像改善)低エネルギー画像と低管電圧CT画像を比較し、低エネルギー画像の画質改善によるDECTの更なる有効活用を目指しています。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>この研究は、通常の検査として撮像された腹部CT画像を使用するため、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。</p> <p>研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。</p>
外部への資料・情報の提供	この研究は、金沢大学医薬保健研究域保健学系と共同で実施しますが、データを外部へ持ち出し、提供することはありません。当院にて解析を行います。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
研究代表施設・代表者	金沢医科大学病院医療技術部 診療放射線技術部門 長田 弘二
研究組織	金沢医科大学病院医療技術部 診療放射線技術部門 長田 弘二 金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授 市川 勝弘 金沢大学医薬保健研究域保健学系 助教 川嶋 広貴
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 中央放射線部 CT検査室 長田 弘二 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表)076-286-3511 内線(7192)

作成日： 2020年10月12日